

令和2年度の会務執行・変更状況について

一般社団法人 日本植物病理学会
代表理事（会長） 有江 力

新型コロナウイルス（COVID-19）感染症のエピデミックの今後が見通せない状況で、会員各位におかれましても、不安な日々をお過ごしのことと存じます。

本会におきましても、COVID-19のエピデミックの影響で、ご承認いただいた令和2年度当初会務案を変更せざるを得なくなっています。

現在の会務執行状況の一部をお知らせいたします。今後もエピデミックの状況次第でさらなる変更が予想されますが、本会ホームページなどを通じてお知らせいたしますので、随時ご確認いただけますようお願いいたします。

会員各位のご健勝をお祈り申し上げるとともに、期待としては、来春、津市（三重県）での大会で一同に会したいと思っております。

[1] 大会、部会、談話会、研究会等の開催

- 1) **令和2年度大会**：中止（講演要旨予稿集出版をもって発表したこととしました）。総会などはメール審議としました。学会賞受賞者講演等は令和3年度大会で実施する予定です。
- 2) **部会**：対面による部会等の開催は原則実施しないことを臨時評議員会、理事会（いずれもメール審議）で承認、6月4日に部会長等に通知しました。現在、各部会でWebによる開催などが可能か検討いただいております。関東部会が9月Web開催予定となっておりますが、詳細は決定次第、本会ホームページ等でお知らせしてまいります。
- 3) **研究会・談話会**：ACPP2020開催のため予定されていませんでした。
- 4) **令和3年度大会**：（2021年3月17～19日、三重県総合文化センター、津市）現在のところ予定通り開催する方向ですが、Web方式への変更もできるように本会でシステムを構築中です。10月ごろまでには実施の可否・方法を、会員の皆様にお知らせできる予定です。

[2] ACPP2020への協賛

ACPP2020の中止が決定された（4月7日）ため、現在、これまでの収支を精算中です。